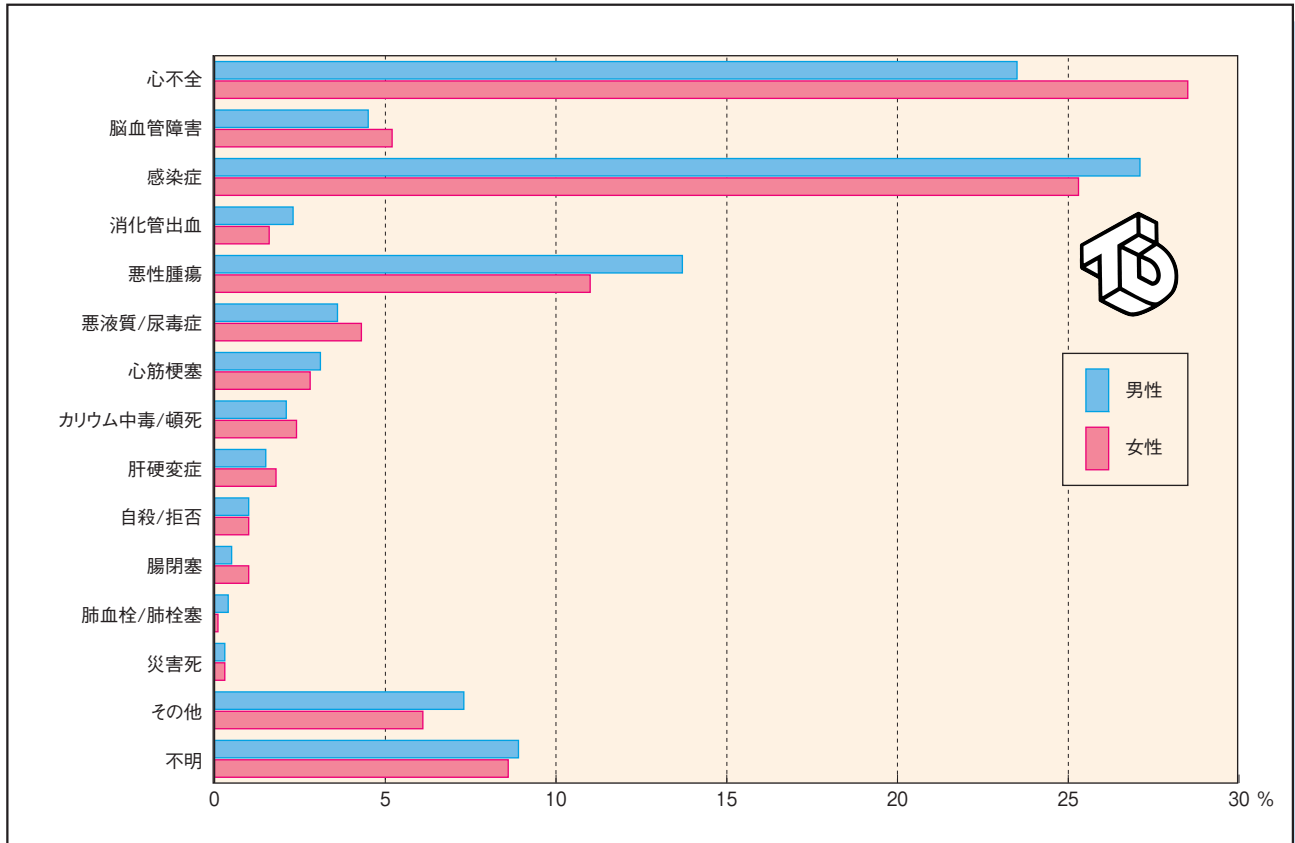


5) 死亡原因

(1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全 (%)	450 (23.5)	283 (28.5)	733 (25.2)	0	733 (25.2)	自殺/拒否 (%)	20 (1.0)	10 (1.0)	30 (1.0)	0	30 (1.0)
脳血管障害 (%)	86 (4.5)	52 (5.2)	138 (4.7)	0	138 (4.7)	腸閉塞 (%)	10 (0.5)	10 (1.0)	20 (0.7)	0	20 (0.7)
感染症 (%)	519 (27.1)	251 (25.3)	770 (26.5)	0	770 (26.5)	肺血栓/肺栓塞 (%)	7 (0.4)	1 (0.1)	8 (0.3)	0	8 (0.3)
消化管出血 (%)	44 (2.3)	16 (1.6)	60 (2.1)	0	60 (2.1)	災害死 (%)	5 (0.3)	3 (0.3)	8 (0.3)	0	8 (0.3)
悪性腫瘍 (%)	262 (13.7)	109 (11.0)	371 (12.8)	0	371 (12.8)	その他 (%)	139 (7.3)	61 (6.1)	200 (6.9)	0	200 (6.9)
悪液質/尿毒症 (%)	69 (3.6)	43 (4.3)	112 (3.9)	0	112 (3.9)	不明 (%)	171 (8.9)	85 (8.6)	256 (8.8)	0	256 (8.8)
心筋梗塞 (%)	60 (3.1)	28 (2.8)	88 (3.0)	0	88 (3.0)	合計 (%)	1,912 (100.0)	994 (100.0)	2,906 (100.0)	0	2,906 (100.0)
カリウム中毒/頓死 (%)	41 (2.1)	24 (2.4)	65 (2.2)	0	65 (2.2)	記載なし	3	3	6	0	6
肝硬変症 (%)	29 (1.5)	18 (1.8)	47 (1.6)	0	47 (1.6)	総計	1,915	997	2,912	0	2,912

患者調査による集計

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

2010年新規導入患者の2010年末までの死亡原因を性別に分類した図表である。2003年から死亡原因コードを国際疾病分類第10回修正版(ICD-10)によるコード番号に変更したが、2010年末調査から死因コードを一新した。男性では、感染症(27.1%)、心不全(23.5%)、悪性腫瘍(13.7%)、不明(8.9%)の順で多く、女性では心不全(28.5%)、感染症(25.3%)、悪性腫瘍(11.0%)、不明(8.6%)の順が多かった。男性の順序は2009年と同様であったが、心不全が2.7%増加した。女性の順序は2009年に感染症が第一位であったが、今回は心不全による死亡が第一位であった。全体では、感染症が26.5%で第一位、続いて心不全(25.2%)、悪性腫瘍(12.8%)、不明(8.8%)の順であった。